

	マテリアリティ	課題の内容(目指す姿)	2024年度目標
E (環境)	事業活動における脱炭素化の推進	スコープ1および2におけるCO2削減。	・CO2排出量10%削減(2020年度比)
	カーボンニュートラルに資する製品やサービスの展開	車両のEV化や低燃費化への対応。 バイオガス事業の拡大。立体駐車装置のEV対応。 また、それらの開発を可能にする組織体制の見直しや開発投資。	—
	気候変動リスクへの対応	気温上昇や異常気象に向けて対策を実施する。	・第三者評価の内容に沿った環境関連情報の開示
	循環型社会への貢献	資源回収の効率化やリサイクル率向上に向けた取り組み。	・リサイクル率99%以上の維持
	生物多様性への配慮	環境負荷物質(SOC)の適正管理。プラスチック使用の抑制。	・グループ内SOCフリーの実現
S (社会)	人権デューデリジェンスの実施	顕在化した人権課題へ適切に対応すると同時に、潜在的な人権侵害を予防する。	・人権デューデリジェンスの構築 (対象:極東開発工業、日本トレクス、極東開発パーキング)
	健康経営の推進	ウォーキングキャンペーンなど健康増進イベントの実施、 情報発信を通じて従業員の健康を増進する。	・健康経営大規模優良法人取得を継続 ・健康目標(管理値)を設定
	労働災害の撲滅	ISO45001に基づいた労働安全衛生リスク管理体制を構築する。	・ISO45001の適用・認証取得 (対象:極東開発工業)(※1)
	ダイバーシティの推進 (DEIBの実現) (※2)	アンコンシャスバイアスやダイバーシティに関する教育を行うことで多様性への理解を深める。また、女性比率を向上することで女性をはじめ誰もがいきいきと働くことができる職場環境を整備する。	・採用数(国内)における女性比率 3年間の平均13%以上 (2022~2024年度) ・全員がバイアスを意識した行動を実践
	地域社会への還元	事業の基盤であるそれぞれの事業地において、地域から受ける様々な恩恵に対して還元していく。	・包括連携協定などの早期締結 (兵庫県/神奈川県/愛知県/福岡県) ・社会貢献/ボランティアに関する制度の確立 ・主要工場での工場見学実施
ワークライフバランスの追求	場所や時間にとらわれずに持てる能力を発揮するための体制を構築する。また、個人がやりがいを持って働くための能力開発を支援し、組織全体のパフォーマンスの向上を目指す。	・年間総労働時間 5%削減 ・有給取得率 70% ・ワークライフバランス満足度 70% (対象:極東開発工業、日本トレクス、極東開発パーキング)(※3)	
G (ガバナンス)	経営人材の多様化	多様化する社会状況にあわせ女性や外国人を経営層や管理職層に登用または育成し、状況にあった意思決定をするための土壌をつくる。	—
	情報開示における有用性と信頼性の向上	グローバルな情報開示基準に適合することで信頼性・透明性・即時性の高い情報開示を目指す。 ステークホルダーそれぞれに見合った開示を計画・設計・展開する。	・情報開示媒体/自社発信ツールの種類及び質の向上 ・ブランドイメージの内部浸透 ・第三者評価の内容に沿ったサステナビリティ情報の開示
	ISOマネジメントシステムを活用した効率的かつ効果的なリスクおよび機会の管理	品質マネジメント・環境マネジメントの適用範囲の拡大。労働安全衛生マネジメントの新規運用。ISOマネジメントシステムのプラットフォームを活用した人権リスクの管理。マネジメントシステムを用い、組織と事業を適切管理する。	・ISO14001の適用範囲拡大 (対象:振興自動車、北陸重機工業) ・ISO45001の適用/認証取得(対象:極東開発工業)(※1) ・ISO9001取得範囲の拡大(対象:エフ・イ・オート、振興自動車)(※4)
	強靭な事業構造の構築	天災、人災や経済トレンドに左右されない、長期にわたって高い付加価値かつ圧倒的な競争優位性を持った事業構造を構築する。 サイバー攻撃や情報漏洩などによって自社のナレッジや顧客情報などが外部へ流出することを防ぐ。	・国内グループ会社での人事制度整備 (制度未導入の国内グループ会社) ・文書管理システムの導入と運用開始 ・BCM(事業継続マネジメント)の体制構築 ・情報セキュリティの向上
	コンプライアンスの徹底と救済プロセスの構築	法令や自主基準に関する違反、リコール、ハラスメントなどあらゆる基準からの逸脱に対して適切に対処する。またマイナスの影響を是正し、影響を受けた人々を救済するプロセスを構築する。	・法令等遵守制度の確立
サプライチェーンマネジメントの実践	サプライチェーンに潜むリスクを適切に管理する。 また、バリューチェーンの脱炭素化を推進する。	・調達リスク管理体制の構築 ・エンゲージメントの実施	

※1 適用/認証取得の予定範囲の見直しを実施。 ※2DEIB=Diversity(多様性)、Equity(公平性)、Inclusion(包括性)、Belonging(帰属性)の略

※3「年間総労働時間」「有給取得率」「ワークライフバランス度」の項目に共通。 ※4「品質マネジメントシステムの統合」の目標は見直しを行い、実施時期を再検討。